

都道府県名	岡山県
-------	-----

学校の概要（平成15年4月現在）

学校名	岡山市立石井中学校					
学 年	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	2	14	40
生徒数	139	143	149	5	436	

研究の概要

1. 研究主題

「生きる力」を育てる「基礎・基本の充実・向上」
-------------------------

2. 研究内容与方法

(1) 実施学年・教科

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 基礎基本の時間（1～3学年）・国語・数学・英語</li> <li>・ 各教科（1～3学年）・全教科</li> <li>・ 選択教科（2, 3学年）・全教科</li> <li>・ 少人数指導（1～3学年）・数学</li> <li>・ 朝の読書（1～3年）</li> <li>・ 学年勉強会（1～3学年）・国語・数学・英語</li> <li>・ 生活面での基礎基本（1～3学年）</li> <li>・ 家庭学習（1～3年）</li> </ul>
---

(2) 年次ごとの計画

平成14年度	<p>テーマ 「生きる力」を育てる「基礎・基本の充実・向上」</p> <p>研究の見通し（仮説） ・ 現在、本校で取り組んでいる教育内容・教科学習（(1)の7項目）が生徒の生きる力を育てる「基礎・基本」であり、その内容・指導の充実が生徒の生きる力となる。</p> <p>研究の内容・方法 ・ 平成14年度は、本校の現在取り組んでいる内容の中で、「基礎・基本」に関する内容を抽出し、我々教職員が「基礎・基本」を意識して計画的に指導していくことを念頭に置いて取り組んでいる。14年度は試行錯誤の段階であり、実態調査・意識調査等を行う中で「基礎基本の内容の確認・指導法の研究」等を検討する。 ・ 内容・方法等については別冊「平成14年度学力向上フロンティアスクール」参照</p>
--------	--

平成15年度	<p>テーマ 「生きる力」を育てる「基礎・基本の充実・向上」</p> <p>研究の見通し 現在、本校で取り組んでいる教育内容・教科学習（(1)の8項目）が生徒の生きる力を育てる「基礎・基本」である。その8項目の中で特に「基礎基本の時間」「少人数指導(数学科)」「朝の読書」「家庭学習」「生活面での基礎基本」「学年勉強会」の充実が生徒の生きる力となる。</p> <p>研究の内容・方法 ・ 「基礎基本の時間」・・・木曜日の6校時（35分間）を基礎基本の時間とし、各学年で小学校及び中学校の基礎基本の内容のドリル学習（国語・数学）を行う。4月当初と2月に各学年とも基礎学力調査を行い定着率を調査する。 ・ 「少人数指導」・・・数学科1～3年とも学級を2つに分けた少人数指導を実施する。指導法およびグループ分けについてなど研究する。 ・ 「朝の読書」・・・活字離れが言われている昨今である。朝の読書を</p>
--------	---

通じて本に親しむことと同時にあらゆる教科・活動における基礎基本である文章を読むことに慣れる。また、読書の楽しさを知る。「朝の読書」を生徒・教職員全員で取り組む。

- ・「家庭学習」・・・家庭学習の実態調査を生徒や教師を対象に実施し、短期的な教科の課題への取り組みだけでなく、長期的・日常的な取り組みとしての家庭学習のあり方としてまとめる。
- ・「生活面での基礎基本」・・・「生きる力」「基礎学力」の養成には毎日の生活習慣等が大切であると考えられる。生徒の生活面の実態調査・意識調査等を行い、「生きる力」を育てるに生活面での何の定着・習慣化が必要であるかを研究する。
- ・「学年勉強会」・・・「基礎学力の充実」と「学習習慣の定着」をはかり進路保障に努めることと生徒と教師の人間関係の深化を目的とし、毎週水曜日の放課後勉強会を実施している。

平成16年度

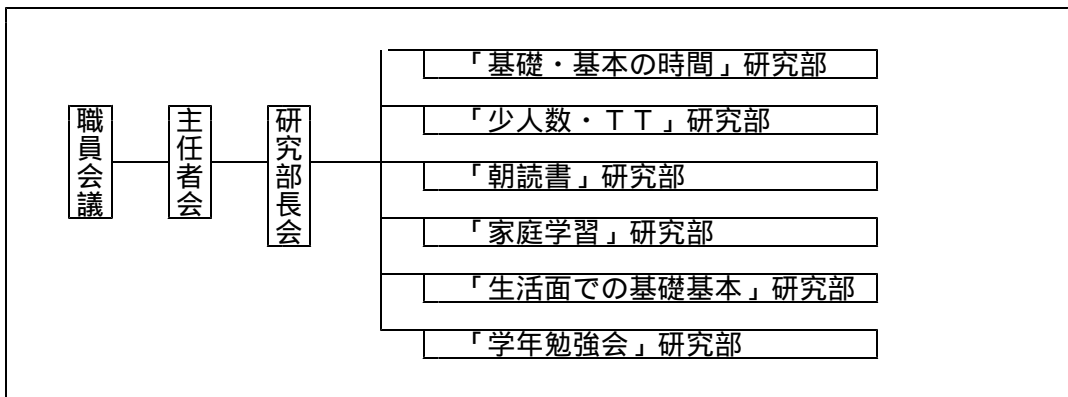
テーマ  
「生きる力」を育てる「基礎・基本の充実・向上」  
研究の見通し

- ・平成15年度の取り組み内容「基礎基本の時間」「少人数・TT」「朝読書」「家庭学習」「生活面での基礎基本」「学年勉強会」の充実が生徒の生きる力の育成になる。

研究の内容・方法

- ・「基礎基本の時間」・・・木曜日の6校時（35分間）を基礎基本の時間とし、各学年で小学校及び中学校の基礎基本の内容のドリル学習（国語・数学・英語）を行う。4月当初と2月に各学年とも基礎学力調査を行い定着率を調査する。
- ・「少人数・TT」・・・数学科1～3年とも学級を2つに分けた少人数指導を実施する。指導法およびグループ分けについてなど研究する。
- ・「朝読書」・・・活字離れが言われている昨今である。朝の読書を通じて本に親しむことと同時にあらゆる教科・活動における基礎基本である文章を読むことに慣れる。また、読書の楽しさを知る。「朝の読書」を生徒・教職員全員で取り組む。
- ・「家庭学習」・・・家庭学習の実態調査を生徒や教師を対象に実施し、短期的な教科の課題への取り組みだけでなく、長期的・日常的な取り組みとしての家庭学習のあり方としてまとめ、保護者への提言を行う。
- ・「生活面での基礎基本」・・・「生きる力」「基礎学力」の養成には毎日の生活習慣等が大切であると考えられる。生徒の生活面の実態調査・意識調査等を行い、「生きる力」を育てるに生活面での何の定着・習慣化が必要であるかを研究する。
- ・「学年勉強会」・・・「基礎学力の充実」と「学習習慣の定着」をはかり進路保障に努めることと生徒と教師の人間関係の深化を目的とし、毎週水曜日の放課後勉強会を実施している。

(3) 研究推進体制



平成15年度の研究成果及び今後の課題

1. 研究成果

- ・ 数学の基本的な計算（小学校1年～6年）のテストの結果（60点満点）が以下ようになった。

学 年	平成15年6月実施	平成16年1月実施
第1学年	54.00	54.11
第3学年	53.48	55.27

それぞれ伸びはわずかであるが、1学年で1回目のテストの得点が80%未満の生徒を見ると得点平均で4.43点上がっているのが救いである。小学校の問題ばかりなので、達成度の高い生徒にとってはまたかといった意識があつて、1回目ほどには集中できていないと思われる。

- ・ 国語の基本的な漢字（小学校1年～6年）の書き取りと読みのテストの結果（それぞれ60点満点）が以下ようになった。

学 年		平成15年6月実施	平成16年1月実施
第3学年	書き取り	50.65	51.82
	書き取り	50.19	51.19

2. 今後の課題

研究組織の見直しと研究分野の精選及び研究計画の検討  
 客観的なデータの収集方法の研究  
 基礎基本の時間の運用の仕方の研究  
 少人数・T.Tの指導法及びクラス編成の仕方  
 朝読書の学校全体での取り組み  
 家庭学習のあり方と習慣化  
 生活面での基礎基本の洗い出しと基本的生活習慣の定着  
 研究会議の時間の設定

学力把握のための学校としての取組

- ・ 定期的な学力調査（国語の書き取り・算数の計算問題）・・・年2回
- ・ 少人数指導のアンケート調査及び定期考査の基礎学力調査・・・年5回

フロンティアスクールとしての研究成果の普及

- ・ HPについては現在作成中で、平成16年度に入ってから開設になる予定。

次の項目ごとに、該当する箇所をチェックすること。（複数チェック可）

- 【新規校・継続校】       15年度からの新規校       14年度からの継続校
- 【学校規模】               3学級以下                       4～6学級  
                                   7～9学級                         10～12学級  
                                   13～15学級                       16学級以上
- 【指導体制】               少人数指導                       T.Tによる指導  
                                   その他
- 【研究教科】               国語               社会               数学               理科  
                                   外国語               音楽               美術               技術・家庭  
                                   保健体育               その他
- 【指導方法の工夫改善に関わる加配の有無】       有               無